

いつも塾通信をお読み頂きありがとうございます。

フィリピン料理

## 春休みのイベント報告

### 英語のフィリピンのリン先生来日しました。

3月29日(水)、無事4月17日(月)に帰国しました。普段はSkype(オンライン)での授業ですが、来日中は対面で授業をしました。児童・生徒から感想を聞くと、「最初はとても緊張したけど、面白かった。」「なんとか話が通じて、楽しかった。」と好評でした。

また、当塾のメインはリン先生が来日中は、本場フィリピン料理が出来ます。(写真参考)フィリピンの調味料が、ドン・キホーテ3階で売っているのです。そこで、日本人の味に合せないで、普段フィリピンの家庭で作っているそのままの味で作ってもらいました。ぜひ、保護者の方は、子どもからフィリピン料理の感想を聞いてください。

フィリピン料理を食べながら、英会話練習をしました。フィリピン料理を英語で解説してもらい、児童、生徒から感想や意見を述べてもらいました。フィリピン料理と日本料理を比較した自由研究をしてみてもどうでしょうか。おもしろいレポートができると思います。例えば、フィリピン料理は甘い系が多く、日本はしょっぱい系が多いです。それは、なぜかを調べてみると面白いレポートができると思います。ぜひ、チャレンジしてみてください。



### 【英語の授業の変化】

中学・高校の英語の授業が、英語だけ（日本語訳をしない）になる予定。とくに、高校では必ず英語だけの授業があります。リスニング・スピーキングがより重視されます。

### 【都立入試で、スピーキングテストが開始】

一般学力入試（5科目）で、英語が120点満点になり、他の4科目は100点満点です。

### 【英語教育・入試の変化に対する塾の対応】

使用教材と勉強方法について。

まず、使用教材は何がいいか？

教科書です。

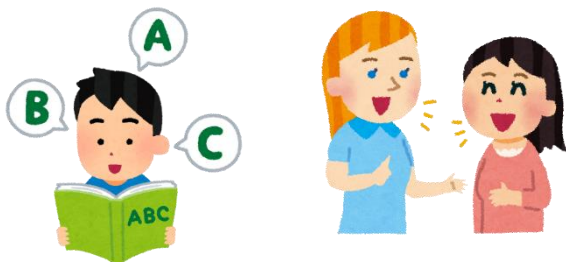
教科書に優るテキストはありません。

その理由は、主に3つあります。

- 1 日本の優れた学者・現場の先生が作っていません。教科書の最後のページに著作者が肩書と名前が載っています。すごい人たちです。
- 2 内容の正確性については、国が検定制度で保障しています。内容面での間違いがほぼないと言っています。安心して、知識として覚えて大丈夫です
- 3 小学生・中学生・高校生など発達段階に応じて作成されているので、理解しやすいです。カラーや写真などがたくさんあります。

次に、勉強方法ですが。

とても簡単です。音読・暗唱100回です。話す英文が頭に入っていないと、すぐに会話文が出てきません。すぐに英文が出てくるまで教科書の音読・暗唱しましょう。その具体的なやり方は、別紙を参考にしてください。生徒には、説明してあります。



### 3月31日(金)科学未来館に見学に行きました。

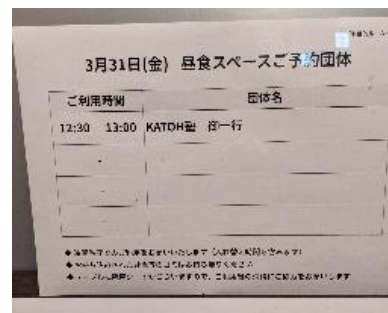
この時に、リン先生も同行してくださりました。実際に英語で話してみると、通じるのでとてもいい経験になったと思います。わからないと決めつけないで、一生懸命英語で話してみると通じることがわかったと思います。ぜひ、この機会の経験を生かして、外国人とたくさんコミュニケーションをしてもらいたいと思います。

また、このような機会を作っていきたいと思います。

科学未来館の見学ですが、ただ見学ただけだと記憶に残らないので、事前学習を実施しました。事後学習は各自に任せました。参加された児童・生徒のみんなは、きちんと事後学習しましたか？夏休みの自由研究のテーマに使ってみてはいかがでしょう。

また、夏休みは、裁判所の傍聴見学・銀行の職場見学と銀行員による銀行のお話の体験学習があります。楽しみにしてください。事前学習と事後学習を実施する予定です。

また、科学未来館・国立博物館も見学を予定しています。普段の授業は、英語と数学を中心に進めて、長期休み（春休み・夏休み・冬休み）は体験学習を通して、理科・社会を学習していきたいと思っています。



※科学未来館から、昼食のために多目的スペースを貸して頂きました。

